

人文学部卒業研究

SNS とリズムネタブームの関係

題 目 —Twitter 分析を中心に—

指導教授 柳谷 啓子

印

提出年月日 2018 年 12 月 17 日

学籍番号 HI15043

氏 名 中村 幸太郎

SNS とリズムネタブームの関係 ―Twitter 分析を中心に―
HI15043 中村幸太郎

要旨

本論の目的は、SNS 上で人気となっている「PPAP」や「ラッスンゴレライ」などの「お笑い」のジャンルの一つであるリズムネタを対象に、なぜ急にブームが起こったのか、また、なぜ人気になっているのかを分析し、メディアとコンテンツの持つ関係性を明らかにすることである。

2015 年から 2017 年にかけて、リズムネタというものが流行し、メディアで見かけることも多くなった。特に SNS 上での拡散が多く、2016 年ごろには、カナダ出身歌手のジャスティン・ビーバーの Twitter で PPAP が「My favorite video on the internet」と紹介され、世界的に話題沸騰し、社会現象ともいえる流行を見せていた。また、西条 (2010) では、「お笑い」は現代若者文化の一つであると述べられており、このことから若者を中心に人気を誇っている SNS と密接な関わりがあることが考えられる。SNS の普及により、共有するだけでなく拡散も容易になったことが、ブームに起因していることが考えられるため、「やってみた」や「踊ってみた」などの動画として、「恋ダンス」や「妖怪ウォッチ」など、リズムネタ以外のブームとの比較も行う。そこから、「やってみた」的な投稿と現在のブームとのつながりを見つける。

研究方法は、まず、Google トレンドを用い、PPAP と恋ダンスの SNS 上で最も流行していた時期を特定する。そこから、Twitter のワード検索機能を用い、リプライ (返信) を除いた PPAP、恋ダンスに関する投稿を分析し、ワードマイニングソフト (KH Coder) を用い頻出語を出す。頻出語からユーザーの投稿の傾向を分析し、なぜ流行が起きたのか、どのように広まったのかを考察する。

分析した結果、PPAP と恋ダンスと同時に使用される語彙は動詞、形容詞ともに同じようなものになる傾向があり、上位 10 件のうち、動詞では「流行る」、「見る」、「思う」、「知る」、「言う」、「踊る」の 5 つ、形容詞では、「可愛い」、「楽しい」、「面白い」、「良い」、「嬉しい」、「凄い」、「早い」の 7 つが共通する頻出語として出てきた。さらに、形容詞の上位 5 位に関しては、順位こそ違うものの「可愛い」、「楽しい」、「良い」、「面白い」、「嬉しい」、の 5 単語が使われていたことから、若い女性を中心に、自らが実践するといった形で発信していくという形で流行が発生したと考えられる。流行は主にロコミで広まり、ラジオや地上波で放送されたものがだんだん広がっていくという形だった。PPAP はやってみた、踊ってみたなどの投稿動画から、ロコミで広がり、手軽にマネできたことが流行の要因になっていると考えられる。また可愛いなどの単語がランクインしたことから、女子高生など、若い女性に人気が出て、動画投稿数が増えたことが明らかになった。

結論では、Twitter のワード検索機能を用いて頻出語彙を出し、PPAP や恋ダンスなどの流行している語と同時に使用される単語は、同じようなものになる傾向があることがわかった。ここから、流行となっているコンテンツに抱く感想は、SNS 上ではほとんど同じになるということが明らかになった。田畑恒平、西条昇、木内栄太、植田康孝 (2016) では、若年層にエンタテインメントを楽しんでもらおうとするのならば、動画サイトで訴求し、SNS で拡散する必要があると述べられている。しかし、恋ダンス現象や PPAP 現象を見ると、紅白歌合戦出場など、TV と SNS が連携することでより大きな盛り上がりを見せていることが明らかになった。今まではコンテンツを届けるメディアがテレビや新聞しかなかっただけで、今後は SNS こそがコンテンツを届ける基盤になっていくのではないかと。

キーワード

リズムネタ Twitter YouTube お笑い ブーム

目次

1. 研究目的	1
1.1 リズムネタの定義	2
1.2 リズムネタ以外のブーム	2
2. 先行研究の検討	3
2.1 遠藤薫（2009）の検討	3
2.2 西条昇（2009）の検討	5
2.3 相羽秋夫（1994）の検討	8
2.4 田畑恒平, 西条昇, 木内栄太, 植田康孝（2016）の検討	10
3. 研究方法	12
4. Twitter 分析結果と考察	13
4.1 PPAP の Twitter 分析	13
4.2 恋ダンスの Twitter 分析	17
5. YouTube 分析と考察	20
6 結論	21
7 参考文献リスト	22